



CHARTERED IN
NOVEMBER 21, 1955

THE SERVICE CLUB OF YMCA
THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S

2016年7月

札幌クラブ

THE Y'S MEN'S CLUB OF SAPPORO

c/o YMCA
MINAMI 11 NISHI 11
CUO-KU SAPPORO
T.064-0811
011(561)5217

キックオフ・YMCAサービス・SF・RBM (Roll Back Malaria)

— 主 題 —

国際会長
アジア会長
東日本区理事
北海道部部长
札幌クラブ会長

「Our future Begins Today」
「Respect Y's Movement」
「明日に向かって 今日働こう」
「視点を変えて見てみよう」
「親しくそして語り合う例会を」

Joan Wilson (カナダ)
Tung Ming Hsiao (台湾)
利根川 恵子 (川越)
山本 雅之 (十勝)
宮崎 善昭 (札幌)

札幌クラブ役員
会 長 宮崎 善昭
書 記 中田 千鶴
会 計 秋葉 聡志
直前会長 宮崎 善昭

今月の聖句

さて、あなたはこの三人の中で、だれが追いはぎに襲われた人の隣人になったと思うか。」
律法の専門家は言った。「その人を助けた人です。」そこで、イエスは言われた。「行って、あなたも同じようにしなさい。」 ルカによる福音書 第10章 36～37節 (中田靖泰選)

巻頭言

行って、あなたも同じようにしなさい

札幌クラブ書記 中田 千鶴



北海道 YMCA 新総主事は、あの有名な良きサマリヤ人の「ルカによる福音書 第10章 37～38節」の「行って、あなたも同じようにしなさい」という聖句を年間聖句として選びました。

私は先日同期の友人に誘われて卒業以来初めて60年振りに私の母校の高校の学校祭に行きました。(プロテスタント系のミッションスクールです。)校舎は昔の面影がありませんが、緑のキャンパスに素晴らしい新校舎を、今昔に想い馳せて懐かしく刻をわすれて見て回りました。

その中で特に心を打たれた教室がありました。それは修学旅行としてカンボジアを訪れた生徒たちの展示室でした。(母校では修学旅行の行き先を生徒たちが自分で決めるそうです)先進国の観光名所を選ばずに、最貧国に行きボランティアに汗を流してきた生徒たちの瞳は輝いてしていました。

『途上国の貧富の差』『日本の私たちが何をなすべきか、できるか』は言葉としては分かっていたが、行って初めて分かりました」と言う彼女たちの言葉を聞いて、私は「行って同じようにしなさい」のあの聖句を思い出しました。

私も高校時代に幾度もこの聖句を習った(聞いた)はずですが、彼女たちのように身についたものには

なっていませんでした。早速、彼女たちに札幌クラブの例会に来て卓話をしてくれるように頼みました。「私たちなんて」としり込みすると思いきや、なんと「自分たちの経験を話すことが出来る機会を与えられるのは嬉しい」と快諾して下さいました。そこに希望と夢を見出した暖かい思いに感謝して帰ってきました。私の高校時代とは隔世の感があります。私たちが高校生の頃には、彼女たちのように外に目を向けるとか、自分の意見を発表するなどということは考えもしませんでした。女性が再び太陽になって輝く日は近いと思いました。

私たちワイズメンもYMCAもミッションスクールも人に「行くべき道」を示すだけではなく、自分自身が「行って、同じように」しなければならないのだ、と教えられた思いがしました。

北海道 YMCA 会員大会



北海道YMCAの会員大会の写真です。昨年度の事業報告、今後の事業計画、予算を聞くなどのほか、グループに分かれてディスカッションを行いYに対する理解を深めました。

2016年6月例会

在籍会員 11名

例会出席 8名

メネット 0名

メーキアアップ 0名

出席報告

ゲスト 0名

ビジター 0名

出席者合計 8名

出席率 73%

札幌ワイズメンズクラブ
2016年7月例会

日時：2016年6月19日（火）18:30～20:30
会場：クラッセホテル札幌 2F 会議室
札幌市中央区南1条西7丁目1-2
Tel. 011-281-3800

例会会費：200円
祝賀会会費：3,000円

プログラム

- 18:30 司会 秋葉 聡志
① 開会点鐘 札幌クラブ会長 宮崎 善昭
② ワイズソング、ワイズの信条 全員
③ 聖句 中田 靖泰
④ 会長あいさつ 会長 宮崎 善昭
⑤ 誕生日 7月3日 中田 靖泰会員
7月5日 小野エリナ ネット
結婚記念日 なし
⑦ 卓話

「YMCAのキャンプについて」

北海道YMCA野外活動スタッフ

木田貴浩様



- ⑧ 諸報告
⑨ YMCA 報告 YMCA 担当主事 佐藤 雅一
⑩ 今月の歌

みかんの花咲く丘



- ⑪ 閉会点鐘 会長 宮崎 善昭

19:45 1階「ひだまり庭」に移動

佐藤雅一会員主事認証祝賀会

何故この聖句を？ 中田 靖泰

国民の上に立つものは驕りや贅沢を戒め、出費を抑えて、質素を旨とし」と訓示した男が政党助成金で「回転ずし」、「家族旅行」どころか「下着」「金魚の餌」まで買っていたとはまさにブーメランの極みで開いた口がふさがりませんでした。世界中の政治家がこの聖句を実践すれば戦争も貧困も一日でなくなります。人のことを言わずに「隗より始めよ」です。

札幌ワイズメンズクラブ6月例会

日時：2016年6月21日（火）18:30～20:30
場所：札幌クラッセホテル 2F 会議室
出席者：秋葉、佐藤、柴田、中田千鶴、中田靖泰、伏木、宮崎、柳沼 以上 8名

京都パレスとのEMC合同研修会の熱気が冷めやらぬうちの例会でした。小野会員は海外出張、川上会員は老老介護、安田会員はコンサート等〃で欠席。8名の例会でした。

今月の卓話者は秋葉北海道 YMCA 総主事でした。「これからの北海道 YMCA のビジョン」と題して、公益財団法人に移行し、新たなスタートを切ることになった北海道 YMCA をリードすることになった新総主事としての決意を語られんした。



写真上：札幌クラブ6月例会。
前列左から、柴田、秋葉、宮崎、柳沼
後列左から、伏木、中田靖泰、佐藤、中田千鶴

札幌クラブ 6月事務会

日時：2016年6月28日（火）18:30～20:30
場所：札幌クラッセホテル 2F 会議室
出席者：秋葉、佐藤、中田千鶴、伏木、宮崎

- ① 7月例会
◆誕生日：7月3日 中田靖泰会員
7月15日 小野エリナ ネット
◆結婚記念日 なし
② 卓話：YMCA にキャンプの話をしてもらう。
人選は佐藤担当主事に一任する。
③ 宮崎会長より 2015 年度活動報告
2016 年度活動計画
④ 秋葉会計より 2016 年度収支決算中間報告
2016 年度収支予算（案）
⑤ 卓話者候補の発掘、推薦
⑥ 京都パレスとのファンド事業の取り組み
⑦ 台湾国際大会出席者：現在のところ3名。
宮崎善昭会長夫妻、柴田伸俊会員
⑧ その他

6月卓話 これからの北海道YMCAのビジョン

北海道YMCA総主事 秋葉聡志



北海道YMCAの未来に関連して、今日は三つのことをお話します。

まず一つ目は、2016年度の北海道YMCA事業方針・計画についてです。今年度の事業方針・計画ではありますが、そう遠くない将来を見据えた中での2016年度の位置づけとして考えています。ポイント

の第一は、公益財団法人移行に伴い、昨年度来、修正・変更作業をしてきた会員組織としての任意団体北海道YMCAの会則を施行し、会務を円滑に進めることであります。細かい点では、まだ会則に付随する細則や規程の修正作業がありますが、一応、任意団体である北海道YMCAとその設置法人である公益財団法人北海道YMCAとの関係性が整理され、組織としての体裁が整ったということでもあります。

第二に、事業的なことですが、各部・ブランチともに事業構造の変革へ向けた取り組みを継続して参ります。様々な社会的な変化、課題に対応し、どのような姿がYMCAとしてふさわしいのかを考えていきます。これまで、北海道YMCAは、公的な支援が受けられる認可事業、助成事業、指定管理等の事業からは距離を置いてきました。しかし、設置法人の公益財団法人への移行に伴い、地域社会の眼は一層厳しくなり、YMCAの公益的な働きが問われています。今一度、私たちYMCAの働きが公益財団法人にふさわしいものなのか検証する必要があります。現在の事業の一つの柱は、チャイルドケア事業であり、各ブランチともに事業収入に占める比率は高くなっていますが、北見、帯広では、いずれも認可外保育施設として行政に認知はされていますので、さらに継続的で安定的な運営を目指すために、認可施設となる可能性を検討したいと思います。札幌よりも道は近いのではないかと考えています。一方、札幌では、会館の老朽化に伴い、施設の補改修、建て替えを含めた将来構想の検討が必要になっており、大きな課題になっています。検討委員会を立ち上げ、具体的な議論を始めたいと思います。

第三に、全国YMCAと協働して進めている、YMCAブランドの見直しについて継続し、特に広報ツールの見直しを図っていきます。これは後程お話します。

第四に、会則変更に伴い、YMCA運動の担い手となるのは、維持会員であることが明確にされました。計画的に維持会員、賛助会員を増強していきたいと思えます。以上が将来につながる今年度の方針であります。

二つ目のことですが、今年度から北海道YMCAの年

間聖句を設定することにしました。一つの聖句をテーマとし、会員一同が同じ思いを持って歩むことは大事なことです。北海道YMCAに今まで無かったのが不思議なくらいです。

今年の年間聖句は、ルカによる福音書10章37節、善きサマリア人のたとえ話の最後に、イエスが律法の専門家に呼びかけた言葉、「行ってあなたも同じようにしなさい」にしました。

隣人を必要としているところに行き、私たちが分かち合うと見えない力に屈服せず、関係性を乗り越え隣人になる行為をすること。それは、分断された関係性を回復する行為とも言えるものです。私たちYMCAは公益団体として、地域に生きる者として、関係性が失われているところへ出かけ、関係性を回復する働きを意識したいと思います。YMCAに連なる私たちひとり一人へのイエスからの呼びかけとして捉え、この聖句と共に1年間を歩みたいと思えます。これからも聖書の言葉に忠実であり続けたいと思えます。

最後に三つめのことですが、ブランディングに関する最新情報です。日本YMCA同盟の中期計画が2014年から3年計画で進んでおり、その計画の中の一つに、YMCAブランドの見直しという項目があり、全国のYMCAが協働して作業を進めてきました。昨年度は、ブランディング専門会社と全国から選抜されたスタッフのタスクチームとがタッグを組み、大規模なアンケート等、内外調査、分析を通じて、「ブランドコンセプト」という土台作りを行いました。それが、一昨日開催された同盟協議会で発表になりました。今日お伝えするのは、出来立てほやほやのホットな情報です。

ブランドコンセプトとして定義する項目は、YMCAが実現したい世の中の姿である「ブランドビジョン」、YMCAがビジョン実現に向けてステークホルダーに提供を約束する価値である「ブランドバリュー」、そして、これらを約束するブランドとして備えているべき個性、らしさ、である「ブランドパーソナリティ」の三つです。ブランドコンセプトは、YMCA基本原則やキリスト教の教えと整合性をはかりつつ、顧客視点に置き換え、ステークホルダーに対する約束として定義するものです。ブランドバリューは、「したい何かがみつき、誰かとつながる。私がよく、かけがえのない場所。」ブランドビジョンは、「互いを認め合い、高め合う『ポジティブネット』のある豊かな社会を創る。」となりましたが、この「ポジティブネット」という言葉は、ブランドコンセプトのために創られた言葉で、互いの存在や個性を認め合い、高め合うことのできる、善意や前向きな気持ちによってつながるネットワークのことです。ブランドパーソナリティは、「心をひらき、わかち合う。前向きで、まわりを惹きつける魅力を持つ。」となりました。このブランドコンセプトを土台に、今年度は、コミュニケーションの軸となる柱づくりの年として、様々なコミュニケーションをツールを開発していきます。その結果は、来年の同盟協議会で発表されます。ご期待ください。北海道Yも希望を持って歩んで参りたいと思えます。ご静聴ありがとうございました。

京都パレス・札幌合同 EMC 研修会

YMCA ニュース

担当主事 佐藤 雅一

6月18日(土)、京都パレスクラブと札幌クラブの合同 EMC 研修会が北海道 YMCA で開かれました。昨年8月、札幌クラブ創立60周年60周年記念祝会で札幌クラブは京都パレスと DBC (国内兄弟クラブ) を締結しました。会員60名を要する日本有数の大クラブと会員11名の小クラブのマッチングでした。京都パレスはその MC の秘訣を伝授、札幌クラブを活性化させようと EMC 合同研修会を札幌で開催しました。パレスからは小林会長以下16名が大挙来札されました。北見、十勝クラブからは農繁期、期末のため残念ながら参加はありませんでしたが、藤井寛敏元国際会長(東京江東)がこの快挙を聞きつけ東京から駆けつけてくれました。

研修会ではまず大野嘉宏元西日本区理事が「視点を変えて」と題する講演がありました。大野ワイズはロータリークラブの例を挙げながら、クラブが伸びるためには、

◆親睦がなにより大切である。
◆親睦で培われたエネルギーが奉仕へと向かう、◆親睦を深めるには例会がなにより大切と語られました。さらに、◆いかに新会員を獲得するか、◆入会した会員をどう育てるか、を具体的な例を挙げて説明されました。最後に、クラブが会員が自己研鑽し人間的に成長できる場所になること、例会が「心を求めて到り、境地を得て帰る」場にならなければならないと結ばれた。

次いで、さらに札幌クラブ宮崎善昭会長、パレスクラブの吉岡幸

次 EMC 委員長が自クラブの「現状と取り組み」を説明された。その後、活発な質疑、意見交換が行われ意義深い研修会を終わりました。

終了後、薄野に席を移し、今後の交流、ファンド事業の話などで世の更けるまで盛り上がりしました。



大野ワイズ



小林パレスクラブ会長



宮崎札幌クラブ会長



前列左3人目から、大野、小林パレス会長、宮崎札幌会長、藤井 PIP。

《水泳フェスティバル》

札幌 YMCA では、昨年まで夏祭りと同様で行っていましたが、2016年度は水泳フェスティバルを単独で開催し全国同日開催のプログラムとして行いました。当日は着衣泳を行い水の安全への体験する時間やプールを使って滑り台や玉入れなどのゲームも行い楽しい時間を過ごすことが出来ました。

《台湾ボランティアリーダー来道》

7/8 台湾から9名のボランティアリーダーが来道します。神戸 YMCA が中心となって行っている ICCP-J (インターナショナル・キャンプ・カウンセラー・プログラム・ジャパン) 参加者が8名、昨年 ICCP-J で来道し、今年はOBとして自主参加の1名です。7/9にチミケップキャンプ場に入り、8/14までキャンプリーダーとして活動します。

《日本語集中クラス開始》

7/11から日本語集中クラスが始まります。北海道 YMCA としては今年1月に続き2度目の実施です。今回は、台中 YMCA から5名、彰化 YMCA から2名の7名が参加します。

1日3時間の日本語講習に加え、様々な体験プログラムを通じて日本の文化や北海道の生活を理解し、生きた日本語を身につけていきます。

《水上安全キャンペーン》

今年も札幌市教育委員会の後援を頂き山鼻小学校に出向き『水の安全教室』を行うと共に、周辺小学校に、こどもたちの夏の水の事故防止のために「水の安全キャンペーン」と称して、啓発リーフレットの配布やポスター掲示も例年通り行っております。今年も6月20日～年間クラスに通う子供たちの「着衣泳」のプログラムが行われました。水にぬれた服を着たまま泳ぐのはとっても大変なことだということを、こどもたちも身をもって体験する良い機会となりました。

《夏休みプログラム募集中!》

ただいま、募集中です。ぜひお知り合いで参加いただける方をご紹介ください。

館内プログラム(プールや体操、フットサル)や特にサマーキャンプは大募集中です!

(チミケップ、道民の森、日高青少年の家、ブナの森)

今年度は奥尻島で行うキャンプを新設致しました



ワイズの信条

1. 自分を愛するように、隣人を愛そう。
2. 青少年のためにYMCAに尽くそう。
3. 世界的視野をもって、国際親善をはかろう。
4. 義務を果たしてこそ、
権利が生ずることを悟ろう。
5. 会合には出席第一、
社会には奉仕第一を旨としよう。